

平成26年度学校評価アンケート 対応・改善策

宮城県塩釜高等学校

平成27年2月17日

分掌	事項	対応・改善策及び目標
保健厚生部	教育相談の更なる充実のための実施方法について	<p>本校の生徒と教職員の関係は良好と思われる。2学年に於いても同様である。しかしながら、63%という数字が出たことは、次のようなことが考えられる。</p> <p>①新課程で初年度学年なので学校に対する期待感が高い。</p> <p>②学習指導・生活指導に力を入れており、それなりの成果が出ているが、そこに厳しさを感じているのではないか。</p> <p>対応策として今後次のようなことを行いたい。</p> <p>①担任に模試返却等の面談時に心の面の相談も投げかけてもらう。</p> <p>②広報を充実させ、カウンセリング便りが保護者にも届くように工夫する。</p>
生徒指導部	生徒会活動の活性化について	<p>①「生徒会だより」等の発行を行い、情報を発信していく。</p> <p>②通学路のゴミ拾いや西塩釜駅と塩釜駅の清掃などボランティア活動を充実させていく。</p> <p>③朝の挨拶運動を生徒会役員を中心に広めていく。(腕章の着用など)</p> <p>④行事(塩高祭, 体育祭)での実行委員会の活動を活発化させ、生徒による企画運営を進めていく。</p>
総務部	防災教育(非常時連絡方法の再構築, 避難訓練の再検討)の充実について	<p>避難訓練については、様々な条件の下で行うなど運営方法を工夫していきたい。</p> <p>また、LHRを利用し本校の防災マニュアルの説明や、保護者受け渡しカード作成などにより生徒の防災意識を高める。</p> <p>保護者については、PTA作成の塩高カレンダーに保護者用防災マニュアルを掲載することとした。</p>